

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|-----------------------------|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目 標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 49 | ○日常的な外出支援 帰宅願望が強い利用者が多いことや、身体的レベルの低下により日常的に外出の機会を多くすることはたいへん難しく、あらかじめ計画されている行事やレクリエーションに限定されがちである。 職員体制にも制約があり、少しの空き時間を利用しての散歩や、利用者ひとり一人の外出希望に添えるような時間が取りにくい。 | 利用者個人の外出希望に応えられる状況を作り出す。 | (1)南庭の遊歩道の活用 (2)老健メデイトピアへの所要の際、可能な限り入居者を連れ立つよう心がける。 (3)天候を見ながら、日向ぼっこを心がける。特に2階はベランダを活用する。 (4)外出希望の把握 (5)児童の見守り活動への参加 | 12ヶ月 |
| 2 | 35 | ○災害対策 グループホーム建物の構造上2階利用者の避難誘導が難しい。特に夜勤帯での避難誘導が困難である。 | 特に夜勤帯、2階利用者が安全に避難できる体制を整える。 | (1)夜勤帯を想定した避難誘導に重点をおいた消防訓練の実施。 (2)地元諸区の地域防災計画にグループホームを位置づけてもらい、区や消防団と連携していく。(3)2階廊下東西の非常階段出口への一時避難所の早期設置。 (4)毎月初めに漏電による火災を防止するため、コンセント及び電気器具の安全確認を行い、理事長に報告。(月初め) | 12ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。